

総合調整会議の概略（2010.12.1）

日時：平成22年12月1日（水）9：00～9：30

場所：栗東市役所4階傍聴者控室

出席者：市長、教育長、部長等

1. 市長の挨拶

[市長]

・まだまだ、やるべきことの把握に必死であるが、ひとつずつ精査を行っていききたい。これまでのやりとりの中で何点か確認したい点がある。まず、毎週の各部からの報告の場の設定の件について、次に新駅関係で4自治会との懇談の場を設けること、および知事との定期的な懇談の機会を設けることについて、最後に都市計画マスタープランの策定の中で同席している業者の位置づけについて、報告願いたい。就任後、不安なことがつづいているが、解らないことについては、素直に皆さんに相談し、教えていただけたらと思う。それぞれの意見について尊重できるところは尊重し、市の言い分としてしっかり持たなければいけないところは持ちながら前に進めていきたいと考えているので、不慣れではあるがよろしく願います。

2. 審議事項

男女共同参画プラン「まちづくり女と男の共同参画プラン（第4版）」の策定について
協働まちづくり課長から説明

・すべての人が性別にかかわらず、お互いの人権を尊重し個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現は、最重要課題と位置づけられている。本市では、平成7年に「まちづくり女と男の共同参画プラン」を策定し、以降5年ごとの改定を行ってきた。現在第3版に基づき事業を進めているところだが、本年が最終年となっており、新たに平成23年から27年までの第4版の策定が必要となってきた。ついては、現在策定中の素案について、意見を頂戴したい。

・今回の第4版における基本目標については、第2版から第3版の改定時に大きく変更を行っていることから、第3版を踏襲した中で素案を作成している。

・改定の重点項目

（1）市民、事業者との協働による広報活動や教育・学習の推進

地域、職場、学校で正しく啓発するためには、行政だけの取組では不十分であり、市民、事業者などと行政との協働により、男女共同参画の意識づくりを育む環境を整える。

（2）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

ワーク・ライフ・バランスの推進により、女性の仕事と結婚・出産・育児との両立を可能にし、男性についても育児・介護・家事や地域活動、さらには自己啓発のための時間を確保を進めることで、地域や企業に活力ある地域社会づくりを進める。

（3）目標値の設定

事務事業評価などの目標値を利用し、共同参画に関わる事業の更なる効率化を図る。

・素案に関する意見については、12月10日(金)までに報告願いたい。今後の予定としては、12月開催の議会常任委員会への報告後、1月7日(金)よりパブリックコメントを予定している。また3月議会への報告までに再度本調整会議に原案を諮る予定である。

[議会事務局長]

・策定スケジュールの中で、12月議会終了後の議会説明会における説明を加えること。

区分：再 議

3. 報告事項

平成22年度募集(平成23年度実施予定)協働事業提案制度実施状況

協働まちづくり課長から説明

・審査の結果、5団体が採択されたので、事業実施担当課においては、新年度の予算措置についてよろしく願います。

区分：了 解

4. その他

[政策秘書課]

・市長と各部長との週間打合せについて、毎週水曜日8:30~9:00の間、市長室にて開催する。報告内容は前週にあったこと、及びこれからの予定について。第1、第3水曜日については、打合せ終了後、引き続き総合調整会議を行う。また、12月21日(火)16:00より、市選出の県議と市の重要案件にかかる懇談会を予定しているため、案件について12月14日(火)までに報告願いたい。

[建設部長]

・都市計画マスタープランの策定における同席している業者の位置づけについては、策定支援業務の委託業者としてプロポーザルにより選定されたものである。また、栗東駅東口のコインパーキングについて、本日11時より稼働する。

[総務部理事(新駅問題担当)]

・四自治会の代表とは近々に調整を図りながら、協議の場を構築していく。知事との懇談の場の設定については、RD問題と連携して進める。

[環境経済部長]

・知事との懇談の場でのRD問題については、県と調整する。

[市長]

・問題点を整理し、国県にお願いするところについては早い段階でお願いし、支援が得られるよう努めなければならない。そのために、まず今の段階でできることを整理し、最大限どうゆう形で進めるのがよいのか、短い期間ではあるが考える必要がある。集中改革プランの考え方について自分の身としてとらえ、市政のやりくりをしながら次の段階をどうしていくのか考えなければならない。

以上